

## 令和4年度 第4回 藤沢市立高砂小学校 学校運営協議会会議録

開催日時 2022年11月30日（水）9時半～11時半

場 所 高砂小学校 図工室および家庭科室

出席委員	東 麻子（副会長・高砂小学校校長） 加藤 財英（辻堂市民センター長） 安藤 正俊（藤沢西部地区青少年育成協会会長） 吉田 秀樹（辻堂まちづくり会議） 成田 玲子（辻堂西部地区主任児童委員） 禹 在勇（湘南工科大学職員） 松島 計江（辻堂児童館、前学校評議員） 平松 直子（高等学校教育経験者、前学校評議員） 高田 理恵（高砂小学校保護者） 南 英代（高砂小学校教頭） 長嶋 宏子（藤沢市教育委員会教育指導課指導主事）
	以上 11名
次第	1. 開会 教頭 2. 副会長あいさつおよび学校の状況報告（高砂小東校長） 3. 議題 司会 南(教頭) (1) 運営協議会としての取り組み実践の経過報告 (2) 6年生音楽学習発表(試行)参観 アリーナ(体育館)約10分程度 (3) 今後の取り組みについて 4. その他 会議予定日 第5回 R5年2月17日(金) 9:30～高砂小(図工室) (年間のまとめ、学校評価など) 5. 閉会 教頭
協議内容	* 3. (3) について ・東副会長（経過報告） 【取り組めたこと】・・・①PTA テトラパックやベルマーク回収協力の促進(回収箱作製) ②学校から住民への情報発信の促進（おはボラさん募集(回覧板の活用)や作品展示、ベルマークの回収など ③児童の作品展示(辻堂市民センター)作品展示を通し地域へ学校の様子の周知 ④学習発表の実施(11/30 試行的に6年合唱とボディパーカッション披露・40名ほど参観) ⑤学習支援（地域の方へミシンボランティア募集、保護者以外に3名参加） ⑥地域との連携((Ⅰ):ムーンショット内閣府オンライン授業、7月に実施4年～6年 (Ⅱ):5年PTA行事 高砂SDG`sウォーク 11/4実施→この二つはともに辻堂まちづくり会議・辻堂市民センターの協力をいただく。見守りやミニ辻堂さんぽの形 (Ⅲ):学習会→市民センター事業(夏休みのみ)学校(夏休み・冬休みに合計5日実施)) 今後連携を図れないか、探っていく。

【取り組めなかったこと】・・・ラジオ体操→来年度へ。早めに準備するよう PTA にも相談していく。

◎学校としては、教育課程内での連携の可能性を探りたいと伝える。

(委員さんの意見)

① 5年生のPTA行事SDG`sウォークについて

(吉田委員)(加藤委員)実際に携わって、児童が地域と連携をしていく良いきっかけとなったように思う。また、マイクロプラスチック探しという教育的価値のある経験を楽しみながら実施することができたことが良かった。偶然に市の津波の避難訓練とも重なり、子ども達も貴重な避難訓練の体験をすることができた。

(高田委員)5年の保護者としては、地域と連携をすることで子ども達の安全対策や地域への学びの場にもつながり大きな効果を感じた。今後もぜひ継続を望む。来年以降は保護者の参加もできるとありがたい。

(南委員)来年以降も地域と連携をしながら、この5年生のSDG`sウォークを継続して行かれると良い。PTAの担当の負担感の軽減にもつながるのではないかな。

(成田委員)(平松委員)(安藤委員)以前は砂工作という取り組みを学校でもやっていたが3.11以降なくなった。昔は湘洋中でも月に1回海岸清掃をやっていた。

(安藤委員)マイクロプラスチックに関心を持たせる取り組みは現在の環境学習への一歩になる大変教育的価値のある経験である。6年生も音楽会も児童達が積極的に取り組み良かった。

② 今後の取り組みについて

(禹委員)コロナ禍で低下してしまった人と人とのコミュニケーション能力を向上させるには、やはり対面を通しての活動が大切である。コミュニティスクールとは、地元の皆さんとともに学ぶ場面を作ることには意義がある。小学校は遠慮せず、まず要望を出してほしい。学生の応援も出すこともできる。校務分掌の中に「コムスク担当」を作ると連携がスムーズにいくのではないかな。

(高田委員)4月に年間スケジュールを出してほしい。その中で運営協議会として関われることは何かを考えていきたい。

(吉田委員)辻堂小で取り組んでいるような安全マップ作りのような児童と地域の防災の専門家とで取り組む活動は、教育課程内での連携となるのではないかな。

(松島委員)今年度試行として取り組んだ活動を「課題」と「成功例」と整理して今後の活動にどう生かしていくかが大切になる。

次回開催日程 2023年 2月17日(金) 9時半～  
高砂小学校 1F 図工室にて